母の家ベテル　ニュースレター
２０１６年　３月号

皆様、いかがお過ごしでしょうか？　母の家ベテルです。

３月なりました。イエス・キリストが私たちの罪のために十字架の上で死なれ３日目によみがえられたことを祝うイースターを迎えます。クリスマスと並んで喜びの日です。

聖書にパウロが最も大切なこととして伝えたことについて記されています。この福音の言葉を保っていれば救われるのです。この福音とは*「私も受けた事であって，次の事です。キリストは，聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと。また，葬られたこと、聖書に従って三日目によみがえられたこと…」*（第一コリント人の手紙15書3-4節）

人間は神から離れ自分勝手な歩みをし、罪の中に生きています。争い，憎しみ，裏切り，やがてその結果は死であり滅ぶ者です。この滅ぶべき私たちのために神の子救い主イエス・キリストは身代わりの死を遂げ、聖書の示す通りに、神の愛を現してくださいました。そして３日目によみがえられたのです。この事実を信じる者は罪赦され，永遠のいのちをいただくのです。もはや罪に縛られることはなく，死の恐怖からも解放されるのです。あなたもイエス・キリストの復活を信じ、復活のいのちとその喜びをいただき、祝福された新しい歩みを始めましょう。お祈りします。

「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は，死んでも生きるのです。また，生きていてわたしを信じる者は，決して死ぬことがありません。」（ヨハネの福音書１１章２５、２６節）

今月は受難の月となりました。２７日にイースターを迎えるまで、皆様が主の受けた苦しみまた復活について考え、また主の栄光に感謝されていると思います。音楽では昔からそれを受難曲として作曲されてきました。調べてみますと、朗唱という形では１０世紀前後から行われ、１６・１７世紀には楽器が入った大きな規模の曲が作曲されるようになりました。その中でも特に有名なのがヨハン・セバスティアン・バッハが作曲したヨハネ受難曲、マタイ受難曲です。それぞれ、ヨハネによる福音書から１８–１９章、マタイによる福音書から２６ー２７章の受難を題材としています。特にマタイ受難曲はその聖書箇所が長く、登場する人物も多いですので、その規模がより大きくなっています。敬虔なルター派のクリスティアンだったバッハが深く受難について考えその作曲に全神経を集中していたことは、バッハの妻のアンナ・マグダレーナがその著書”バッハの思い出(講談社学術文庫)”の中でこのように語っています。

> ”彼の深い魂が一番力強くほとばしり出ているあの彼の最大の作品、マタイとヨハネの両受難曲を、〜中略〜、ちょうど彼は『マタイ受難曲』の中のアルト独唱「ああ、ゴルゴダ」を書いているところでした。平生は安らかで

血色のよい彼の顔がすっかり灰色になって涙さえ溢れ出ているのを見たとき、わたくしはどんなに感動したことでしょう！、～中略～、彼が福音書のお言葉のために作ったこの聖なる音楽は、すべてのキリスト教徒が十字架をふり仰ぐときの千々なる思いにこよなく崇高な表現をあたえたものです。”

ヨハネ受難曲は２時間強、マタイ受難曲は３時間を超える大作ですので、なかなか一度に聞くのは大変なことですが、聖書とともにこの音楽を聴いてみてはいかがでしょうか？　いくつか有名な箇所をご紹介させていただきます。

ヨハネ受難曲　第２部３０番「成し遂げられた」（ヨハネの福音書１９章３０節）
https://www.youtube.com/watch?v=K_QAoanXntw

マタイ受難曲　第２部３９番「憐れみ給え、わが神よ」（マタイの福音書２６章７５節）
https://www.youtube.com/watch?v=M1gArVevZJM

マタイ受難曲　第２部５４番「おお、血と涙にまみれし御頭」(２７章２８−３１節)
http://pacem.web.fc2.com/youtube_bach/matthaus_2/54_herreweghe.htm

今月も、皆様の上に神様の豊かな祝福とお支えがございますように、シスター一同お祈り申し上げます。

母の家ベテル

母の家ベテル
セミナーのご案内

ベテル教会
３月のご案内

今月も基本的には聖書日課にそって、メッセージの箇所はルカの福音書からですが、メッセージ担当者によ

母の家ベテル
３月　スケジュール

１３日(日)　セミナー(第一回目)
１５日(火)　婦人の集い
２２日(火)　いずみ会

２０１６年、母の家ベテル・セミナーが行われます。今年は講師に沼野尚美先生をお迎えしました。

今年のテーマ
”今を生きるコツ
～よりよく生きるために～”
から、第一回目は、
”自分らしく生きるために”
という題で講演していただきます。皆様のご参加をお待ちいたしております。

２０１６年３月１３日(日)
午後２時～４時
母の家ベテル一階ホール

詳細はホームページをご覧ください。

って変更もございます。また、２５日(金)１９時から受苦日礼拝がございます。

メッセージ担当者
　６日　Sr.山﨑智子牧師
１３日　Sr.エーデルトラウト・ケスラー
２０日　中島光男牧師
２７日　Sr.山﨑智子牧師

詳しくはホームページをご覧ください。

Copyright © 2016 Motherhouse Bethel, All rights reserved.
母の家ベテルのメールマガジンにご登録いただいた方にお送りしています。

Our mailing address is:
Motherhouse Bethel
3-27-22 Mikage Nada-ku
KOBE, HYOGO 658-0047
Japan

Add us to your address book

Want to change how you receive these emails?

You can update your preferences or unsubscribe from this list

MailChimp.